

今年度3回目の授業研究！ 梅原先生 6/28 生活科 1年生 「なつがやってきた」



協議会で検討した結果・・・

①単元の方向性

単元全体のゴール「なつとなかよくなろう」を設定し、ゴールイメージをもちながら活動する。

※本時では2次のゴール「みずとなかよくなろう」を目的に話し合いを進める。

②場の設定

自由に活動をさせ、活動の記録写真を撮る。一人で遊んでいる子や、困っている児童を見取り記録に残し、本時に生かす。

<本時の展開>

| 学習活動 | |
|------|--|
| 1 | 前時までの活動を振り返り、どんなあそびをしたか発表する。【個】→【全】 |
| 2 | 前時の写真から、遊びの中で生まれたできなかったことや困ったことを紹介する。【全】 |
| 3 | 学習のめあてを確認する。【全】 |
| | めあて |
| | みんなのできなかったことや困ったことをつなげタイムでかいけつしよう。 |
| 4 | 解決策を話し合う。【グ】 |
| 5 | グループの話し合いを全体に共有する。【全】 |
| 6 | 解決策を基に、次にしたい遊びを決めて、ワークシートに書く。【個】 |
| 7 | 振り返りをする。 |

つなげタイムではなく“どんどんタイム”として、教師が指名する。

写真&事前にアンケートを取り、困り感のある児童を見取る。

一人の困り感をみんなで話し合い解決に導くことで、つなげタイムをする必然性をもたせる。

意見を活発化させるためにグループ活動を取り入れる。

★さらに・・・

授業全体の記録だけではなく、3人の児童を抽出し授業での変容を見取る。記録は研究推進部で行う。